



1月1日(火) 総務課 ☎57-8500 香南市人事

- 平成25年1月1日付
- ◆税務課から会計課会計係長 谷岡美鈴
- ◆生涯学習課から農林課主任 伊野広高
- ◆建設課から生涯学習課主査 寺田義文

1月15日(火) 高齢者介護課 ☎57-8510 虐待防止ネットワーク委員に委嘱状を交付

高齢者介護課と福祉事務所は「香南市高齢者および障害者虐待防止ネットワーク委員会」を開催しました。この委員会は、高齢者と障害者の権利擁護のため虐待の予防や早期発見、対応について、警察、消防、医療機関、サービス事業者、民生委員等関係機関と情報を共有し、ネットワークを強化するためのものです。昨年10月に福祉事務所に障害者虐待防止センターが設置されたことにより、今年度から、高齢と障害の分野が合同で開催することになりました。この日、各委員15人の方には、副市長から委嘱状が手渡されました。今後は、年1回ネットワーク委員会を開催していきます。

市役所北庁舎を解体しています

1月25日から3月末まで、北庁舎の解体工事を行っています。解体期間中、来庁者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。なお、高知新聞香長総局北側の職員駐車場(下記グレー部分)を来客用駐車場に開放しますので、ご利用ください。 ◆問い合わせ 財政課 ☎57-8502

高知新聞香長総局	香南市役所第2駐車場(来客用)	香南市役所
----------	-----------------	-------

J A 土佐香美	JA土佐香美駐車場	高知銀行
----------	-----------	------

1月6日(日) 消防本部 ☎55-4141 まちの安全、今年も守るぞ!

野市東小学校グラウンドで、消防職員・各消防団員・女性防火クラブ・赤岡町少年防災クラブなど約270人の参加による「平成25年香南市消防出初め式」が開催されました。

式典は参加者全員の行進に始まり、服装・車両・機械器具点検や、長年にわたる功績のあった消防職員や団員に対して表彰が行われました。参加者は、今後予想される南海トラフ巨大地震に対し、住民の生命と財産を守る要として決意を新たにしました。



女性防火クラブによる分列行進

1月20日(日) 消防本部 ☎55-4141 文化財防火デー消火訓練

文化財防火デー(1月26日)にあわせて香我美町徳王子の若一王子宮で、文化財を火災から守るための消火訓練を実施しました。

13時30分、若一王子宮本殿より出火したとの想定の下、できるだけ実際の火災出動に近いかたちでの訓練とするため、香我美消防団第1分団(岸本、徳王子、山南)の団員約40人が各屯所から出動。現場到着後、連携を取りながら目標に向けて放水を開始しました。その後、本殿裏山の木々に延焼したとの想定を追加。新たな火点までホースを再延長し、消火活動を行いました。

撤収後、境内において別役伸二郎団長より、小型ポンプで水路から吸水した際に若干時間がかかったことに触れ「もう少しスムーズに行動できるようにしてほしい」と講評があり、団員は、より迅速かつ的確に行動できるよう気を引き締めました。



JFAこころのプロジェクト 夢先生 Dream ~夢があるから強くなる

12月11日(火)夜須小学校で同校5年生34人を対象に、元プロサッカー選手の中弘大介さんを「夢先生」に招いて「夢の教室」が行われました。初めに体育館で、中弘さんと一緒に一つの目的を達成するゲームを行い、声を出し合ったり、役割分担をしたりして、チームワークの大切さを学びました。教室では、夢を実現するために中弘さんが今までに掲げた目標を挙げ、その後、児童たちも夢とそれをかなえるためにはどうすれば良いかを発表していました。「ロボットを作りたい」「アナウンサーになりたい」と夢を発表した児童たち。今回の授業が夢をかなえるための近道になったのではないのでしょうか。



▲今まで掲げてきた目標について説明する中弘さん



Topics

年 兔田八幡宮 大晦日恒例行事 越しそばでお宮賑わう

12月31日(月)から1月1日(火)にかけて、野市町の兔田八幡宮で、初詣に訪れた参拝者に年越しそばが振る舞われました。これは、兔田総代会を中心とした有志が、14年前にお宮の活性化を図ろうと始めたところ、年々若者を中心に参拝者が増加。今年もキジで出汁をとった年越しそば140食は、あっという間になくなり、参拝者は身も心も温まり、笑顔の輪が広がりました。関係者は「炊き出し訓練も兼ねてやっています。これからも歳末の風物詩として続けていきたいです」と話してくれました。



①境内まで152段続く階段 ②盛り付けをする中学生 ③年越しそばを手ににっこりの若者

除夜の鐘ならぬホラ貝を吹いて新年を知らせる岩神数雄さん



千 夜須八幡宮 百手祭 年の伝統。12射手の矢、1,200発

1月13日(日)・14日(月)の両日、夜須八幡宮で毎年恒例の「百手祭」が行われました。選ばれた烏帽子素襖姿の射手12人の中には女性も含まれ、五穀豊穡や家内安全などの願いを込め、二日間で約1,200本の弓を射ました。百手祭は高知県の三大弓祭りの一つであり、香南市に受け継がれる文化遺産ですが「最近では見学者が減少しているのが残念」との声も。静かな境内に「パーン!」と射手の放った矢が的を射た瞬間、家族や見学者の歓声と拍手が響き渡っていました。また、今年は「岸本はたち会」の皆さんが協力し、会場を訪れる人にお土産として「パットライス」を手渡し、喜ばれていました。



▲約30m先の的を狙って一心に矢を射る

祝 第20回「高新高賞」受賞式 受賞!絵金を広めた3団体

1月18日(金)弁天座で財団法人高知新聞厚生文化事業団の第20回「高新高賞」受賞式典が行われ「赤岡絵金屏風保存会」「土佐絵金歌舞伎伝承会」「絵金蔵」の3団体が受賞しました。

この3団体は絵金の作品の保全、継承に地域を挙げて取り組み、絵金を世に広めると共に地域を挙げての活動が評価されました。受賞された絵金蔵の浜田義隆会長は「絵金を街の宝とし、今まで以上に広めたい」と絵金をさらに広めるため決意を新たにしていました。



▲絵金の魅力を発信してきた3団体の皆さん

